

## 環境に関する基本原則

私たちは、事業活動に欠かせない水を含めた自然資源を有効活用し、地球環境を持続可能な形で次の世代へ引き継いでいくことを重要な使命と捉えています。そのために、環境負荷の低減と事業の成長を両立するイノベーションにより地球環境の保全を進め、地域社会における自然環境の保護と環境啓発を通じて、地域社会との共創価値（CSV）を実現します。

## 環境に関するポリシー

私たちは、環境に関する以下のポリシーに基づいて事業活動を行います。

### 1. 環境負荷の低減

原材料の調達から製造、物流、販売、回収・リサイクルに至る製品のライフサイクル全体において、環境負荷の低減を図ります。新製品の開発やサービスの導入、サプライヤーの選定等においても、環境負荷の低減を推進します。また、事業活動に伴い生じうる大気・水・土壌の汚染が人々の健康および自然環境に与える影響を深く認識し、その防止に向けて取り組みます。

### 2. 持続可能な資源の利用

持続的に資源が循環する社会の実現を目指し、水やエネルギーなどの資源を、効率的かつ持続可能な方法で利用するために、適切な経営資源を投入します。また、設計段階での省資源化、リサイクル・廃棄物の削減に取り組み、資源の循環利用の促進に努めます。

### 3. 食品ロス、廃棄の削減

需要予測の精度向上や柔軟な製造体制の構築を通じて、サプライチェーン全体における製造の最適化を推進し、廃棄物の発生抑制および食品廃棄量の削減に取り組みます。また、製品情報を適切にお得意さまへ提供し、消費者の多様なニーズに対応した製品展開を行うことで、食品ロスの低減に貢献します。さらに、ステークホルダーと連携し、食品ロスの削減および有効活用に向けた協働プログラムの推進に努めます。

#### 4. 気候変動の緩和

気候変動の緩和に貢献するとともに、私たちの事業の持続的な成長につなげるため、国際的な気候変動抑制の枠組みに基づく目標に沿って、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を削減する施策に取り組みます。気候変動の緩和に向けた前向きな取り組みを重視し、その進展に反する意図的な活動や支援は行わないよう努めます。

#### 5. 水資源の保全

豊かな水資源を次世代へ引き継ぐため、製造に使用する水の削減や適切な処理に努め、さらに地域社会との協働を通じた水資源の保全に取り組みます。

#### 6. 生物多様性、生態系の保全・回復

自然生息地および保護地域を特定し、生物多様性と生態系の保全の促進に取り組みます。生態系の改変や破壊を伴わないよう事業活動を行います。自然生息地、保護地域において、環境影響の分析を行い、リスクの回避・最小化に努めるとともに、モニタリングと開示を通じて、生態系の回復に努めます。

#### 7. 森林保全、責任ある土地利用

私たちの事業活動において、責任ある森林・土地利用の促進に努め、森林破壊や土地の転換による劣化の防止に取り組みます。製造拠点の水源地域においては、森林保全団体などの外部パートナーと連携し、間伐や植林などの持続可能な森林管理を実施します。

#### 8. コミュニケーション

地域社会をはじめとするステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、それぞれのニーズに応えることを目指し、常に信頼され期待を上回る企業として行動します。目標およびその進捗状況については、年次報告書や会社ウェブサイトを通じて、社内外に報告します。

#### 9. 啓発、人材育成

地域の方々や社員を含む、私たちの事業活動に関わるすべての人々の環境意識を向上するため、さまざまな教育・活動の機会を提供します。また、環境保全や清掃活動等にも積極的に参加します。

## 10. 環境パフォーマンスの向上

環境目標を設定し、各種プログラムを計画・実行します。常に先を見据え、環境目標を定期的かつ必要に応じて見直し、環境パフォーマンスの継続的向上に取り組みます。定期的なモニタリングおよびリスクアセスメントを実施し、結果を基に改善策を実施し、継続的な環境改善の取り組みを進めます。

## 11. 法令遵守

法令・協定を遵守し、法的義務を超える取り組みについては、事業の持続可能性に配慮しながら推進します。

## 12. 付則

このポリシーは2018年1月1日から制定実施します。

(2021年6月改定)

(2025年10月改定)